

# 愛、知、和

No 3 平成29年 7月 4日  
発行 大宮開成中学・高等学校  
生徒指導部

## 21世紀を担う調和のとれた人間教育

6月19日(月)にNPO法人 スクールネットワークアドバイザー 赤木 聡先生をお招きし、中学1年生対象に『インターネットトラブルの防止について』講演をしていただきました。近年、インターネットやスマートフォンを所持している中学生の割合が増加している傾向にあります。中学生の段階では、ネットマナーを学ぶ前に使用しているため、友人間のトラブルやその他の犯罪に巻き込まれる事例も増えてきています。また、インターネットやスマートフォンに依存することで、「時間」だけでなく、「家族」・「友人」・「夢」・「現実の居場所」そして、「自分自身」さえも見失ってしまう人が増えていきます。

本校中学生徒も7~8割程度、スマートフォンを所持しています。そこで、自分が被害者になる、あるいは加害者になる危険性が身近に迫っているということについて事例を紹介しつつ予防法について講演していただきました。

### ◆ 楽しいはずのインターネット 「どうしてこんなことに!?!」にならないために…

#### ① 人を傷つけない!

文字 … 感情はない、凶器にもなる → **顔が見えないインターネットでは、思いやりの心が必要!!**

#### ② 自分や他人の個人情報を書かない!

人の顔、プライベート、作品 etc 無断で使用 → **犯罪**

一度、インターネット上に載せたものは一生残る(デジタルタトゥー) → **それだけの覚悟・責任が必要!**

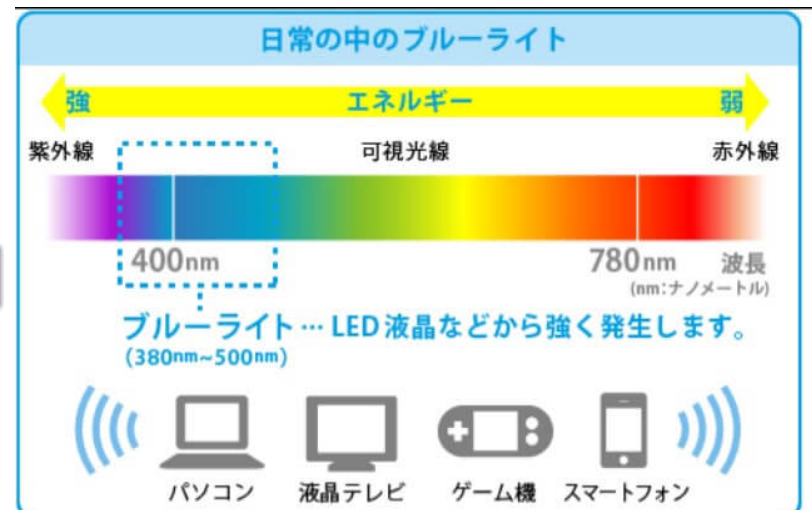
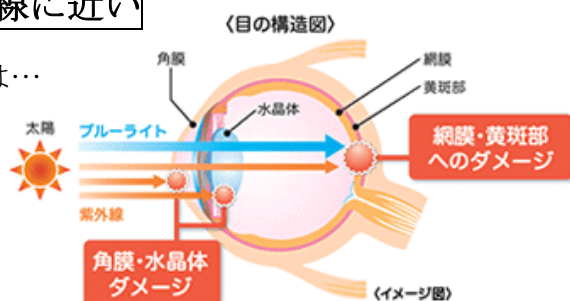
#### ③ ネットで会った知り合いには絶対に会わない!

#### ④ ネットに依存しない!

**ブルーライトは紫外線に近い**

紫外線やブルーライトは…

**直接網膜に届く**



#### ⑤ すぐに大人に相談する!

以上のように、「使用面のルール」を一人ひとりが守り、「より良くインターネットを利用する」ことが大切です。また、「インターネットやスマートフォンに依存をしない」、「相手の立場に立って利用する」ことも中学生の時期にとっては非常に重要なことです。本校の生徒もインターネットやスマートフォンを利用している人が多いので、今後は学んだことを活かして賢く利用していきましょう。



#### ~生徒の感想~

- ・インターネット上に簡単に自分の画像を出すことの恐ろしさが分かった。
- ・スマートフォンを持っていないが、いざ持つことになったら気をつけなければいけないことが分かった。
- ・使い方を一歩でも間違えると、危険なことになるということを学んだ。
- ・大切なことはインターネットを介してではなく、直接顔を見て伝えるということを再確認することが分かった。
- ・相手の顔が見えないからこそ、何気なく送ったメールが喧嘩の原因になるかもしれない危険性を学んだ。